



興 照 寺 報

「つどい～つたえ～つながって」

令和7年7月

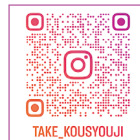
87号

発行：浄土真宗 興照寺

〒890-0045 鹿児島市武1丁目25番12号

電話 **099-254-3269** (代)FAX 099-254-0303

URL <https://take-koshoji.com/>



帰敬式、親鸞聖人降誕会法要 ミニコンサート♪ 同日開催!



今回、6名の方が帰敬式を受式されました。
帰敬式を受式された方々のお声です。

- ・ 厳かな雰囲気では法名を頂き、心新たにこれから生きていこうと思いました。
- ・ 法名ははっきり自分が亡くなってから付けてもらうものと思っていました。受式することで、新しい自分との出会いもありました。



指宿市照光寺の川畑法英先生によるご法話。
分かりやすいお話で、和やかな中にも
気づきの多い時間となりました。

一口メモ

帰敬式とは 生前法名授与式です。法名とは【釋○○】。浄土真宗では戒名とは言いません。浄土真宗では、亡くなってからではなく、生前に法名授与することが本来の形となります。当寺では5月の降誕会、12月の報恩講時の年に2回帰敬式を行ないます。帰敬式受式ご希望の方は、事前のお申込みが必要となりますので、寺までお尋ねください。

降誕会とは 浄土真宗宗祖親鸞聖人のお誕生日をお祝いする法要です。

～法要、コンサートに 来られた方々のお声～



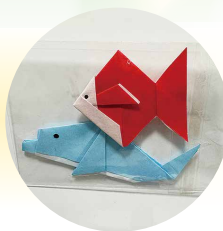
身近なお寺で、普段着で気軽にコンサートに行けるなんて 本堂内の音響にびっくりしました

素敵な歌とピアノ
とても感動しました

法要、法話、コンサ
ート…得した気分♪



今回の寺報に折紙を同封しております。
これから迎える夏本番に向けて
少しでも和んでいただければと思います。



法座のお知らせ

参加方法：お念珠（お数珠）ひとつで、普段着で気軽にお越しください。
参加料のような類はございません。尚、任意のご懇志をご持参頂いた方に
関しましては施本等をお渡しいたします。



秋季彼岸法要のご案内

「彼岸」とは「お浄土」を表す仏教用語です。私たちの住む現実の世界「此岸」から、阿弥陀さまの極楽浄土「彼岸」へ至る道を尋ねて聞くことが本来の彼岸の意味であります。
是非お聴聞ください。

日 時	午前10時～11時15分	午後2時～3時15分
9月20日(土)	○	○
9月21日(日)	○	
9月23日(火)	○	○

布教使：丸山 英人氏、大英氏（福岡県） 受付：興照寺本館1階寺務所



永代経、納骨堂法要のご案内

日 時	午前10時～11時	午後2時～3時	午後6時～7時
11月21日(金)		○	○
11月22日(土)	○	○	

布教使：丸山 英亮氏（福岡県） 受付：興照寺本館1階寺務所

『^みだ^{ほん} ^{がん} ^{ろう} ^{しょう} ^{ぜん} ^{あく} 弥陀の本願には老少善悪のひとをえられず ただ^{しん} ^{じん} ^{かなめ} 信心を要とすとしるべし』

今現在では日本は世界一の長寿国と言われていますが、太平洋戦争前までは男女とも平均寿命は50歳にも達していなかったそうです。当時は人生50年とも言われていました。

しかし、医療の進歩や生活環境の向上により平均寿命は今や男性81歳、女性87歳、女性で言えば世界で最も長寿だそうです。あくまで平均的な数字ではありますが、凄いことです。でも平均的と言われると、端的に言えば、人口100人に対して100歳で亡くなる人が50人、0歳で亡くなる人が50人とする、単純に計算すれば、平均寿命は50歳となりますが、太平洋戦争前は0歳から10歳未満の死亡率が異常に高かったため、50歳にも達していなかったとも言えるでしょう。

さて、上記の前途のご文は『歎異抄』の第一条の文ですが、そのまま頂くと『阿弥陀様のご本願は老いも若きも善人も悪人もわけへだてなさいません』と頂けるのですが、はたして何歳からが老いで何歳までが若き人なのか、どのような方が善人でまた悪人なのか。と考えてしまうこともありそうです。

しかし、阿弥陀様のご本願はこの私一人に向けられている救い、また願ひそのことを親鸞聖人様は『弥陀の※五劫思惟の願をよくよく案ずれば、ひとへに親鸞一人がためなりけり』と味わっていらっしゃる。同じように私も頂かせてもらおうと、『若い時の私にも、年老いてからの私にも阿弥陀様のご本願は休みなく絶えず注がれ続けて下さっている。』善い行いの私の時にも悪しき行いの私の時にも『そんなお前だからこそ、ほってはおけないのだよ』と優しく呼びかけ続けて下さっていると頂けるのではないのでしょうか。さらに申せば、こちらは忘れることがあっても阿弥陀様からすれば忘れることなく休むことなく温かく包み続けて下さっている。何ともかたじけなく有難いことです。 合掌

※五劫思惟…阿弥陀仏が「すべての人を救いたい」という願ひ（本願）を立てる前に、とてつもなく長い時間をかけて深く深く考え抜いたことを指します。 (天野記)

多段式納骨壇／合同納骨室のご案内

○多段式納骨壇、合同納骨室は継承者がいらっしゃる方が対象です。

関心をお持ちの方や何かご相談等あれば、寺までお問い合わせください。

パンフレット等をお渡しし、ご説明させていただきます。

門徒限定

平成以前設置の空き(中古)一段式納骨壇のご案内

空き(中古)一段式納骨壇は継承者がいらっしゃる方が対象です。

現在28組の方が順番待ちの状態、空きが出た場合、クリーニング後、順次ご案内しております。関心をお持ちの方は直接お問い合わせください。

尚、この空き納骨壇誓約可能対象者は“継承者がいらっしゃる方”で“過去2年以上門徒費を完納頂いている既存の門徒のみ”と限らせて頂きますので重ねてご了承ください。

令和7年 お盆参りについてのお願い

● 寺にお越しの際のお願い

① 本堂での盆法要は、他の方との合同法要（要事前予約）となります。

② 出来る限り公共交通機関をご利用ください。

駐車場に限りがあります。お車で来られる際は乗り合わせでお越しください。
当寺駐車場が満車の場合は、近隣のコインパーキングをご利用ください。



【重要】納骨堂参拝に関するお知らせ

● お盆期間中の納骨堂の開館時間は下記となっております。

8月13日～15日は午前8時～午後8時（通常は午前8時～午後6時）

● 日中は駐車場が大変込み合いますので、**夕方以降のお参りをお奨め致します。**

● 個人情報保護の観点より、**使用責任者（継承者・保証人）様のご意向によっては、興照寺職員が納骨壇の場所をお伝えすることが出来ない場合もございます。**

何卒ご理解ご協力の程宜しくお願い致します。



● お盆参りに関する希望を出されていない方（お盆参り事前予約について）

今年度の門徒費のお支払い時（3月に送付した払込票内記）に「お盆に関する希望」をお聞きしており、それを基にスケジュール調整をしております。希望をまだ出されていない方でお参り希望の方は必ず事前にご予約ください。**せっかくお越しいただいても時間帯によっては、収容人数の関係で、お入り頂けない場合もございます。**

盆参りのご希望を既に出された方は、今回の寺報に同封しております「盆法要のお知らせ」をご確認ください。

令和7年度 門徒費、納骨堂管理費が未納の方へ

まだ納入されていない方はご確認の上、令和7年度の門徒費（2,000円）および納骨堂管理費（10,000円 ※多段式の方は5,000円）の納入をお願いいたします。



寺務所受付対応時間、開館時間

● 興照寺 寺務所（興照寺本館1階）

寺務所受付対応時間：午前9時～午後5時

（事前にご連絡あれば時間外でも対応可）

● 興照寺 納骨堂【本館（3階）、会館（3～7階）】

納骨堂開館時間：午前8時～午後6時

（8月13日～15日は午前8時～午後8時）

● 住職を始め、法務員、事務員も“お寺の働き方改革”で、毎週2日程度それぞれお休みをいただいております。法要や墓じまいなど、直接ご相談等ある方は、事前にご連絡を頂いた上で、ご来訪ください。

あ
と
が
き

六月三日、私のヒーローがこの世を去りました。『長嶋茂雄』、小学生の時から憧れの人でした。彼の栄光と挫折、そして復活が人生の起伏を感じさせてくれました。

このヒーローのように、残りの人生を

笑顔で明るく生きていこうと、今しみじみと思っています。

（住職記）